

(前頁より)
と思われる数社の方にお尋ねした
わけですが、やりがないと思いま
す。

国債や地方債で

金融は逼迫するか

司会者 昨年暮れに、国債や地

方債のため、一時的にせよ金融機
関の金が吸い上げられて、金融が
逼迫するのではないか、ということが
と言われていたのですが、これ

からの金融の見通しについて、F
さん、いかがですか。

F この問題については、私よ
りJさんのほうが適任ではないか
と思うのですが、二指名ですので
昨年暮れに或る金融筋に当つてみ
た結果を申上げてみたいと思い
ます。

金融筋では、昨年の年末は、や
はり、貸付資金の需要、国債、そ
れに、地方銀行その他が地方債の
資金を相手に受けさせられるとい
うようなことで、金融が引き締り状
態で推移するのではないか、とい
うような見方をしていました。
しかし、今年については、これ
は私の考え方でも大分合っているの
ですが、マクロ的には、特別に緩
和するにいともなければ、も
っとも、増産の運転資金需要
もさうないのだから、当然
は緩んでくるわけですが、日本で
は金融は統制を受けているのです
から、いくら企業の資金需要がな
いかといつても、一方において
インフレの心配があるだけに、政
府はそう簡単に金融を緩和しない
だろう、ということと、相当な國
債や地方債の発行があつたため、こ
の當をしているところは金融は堅で

すので、この問題はほんへんに打
ち切り、次の話題に移りたいと思
います。

すので、この問題はほんへんに打
ち切り、次の話題に移りたいと思
います。

济が危ぶまれるところは益々きび
しくなるだろうという見方ですか
これは、一金融機関に聞いただけ
の不況の苦しい中を生き抜けると
いう見通しが、ハッキリ銀行側で
納得できるなり、貸して貰えると
も聞かせていただけたらと思いま
す。

E たゞい赤字であつても、こ
の不況の苦しい中を生き抜けると
いう見通しが、ハッキリ銀行側で
納得できるなり、貸して貰えると
れるなど、ほんとうによく面倒を
見てくれています。

F 中小企業金融公庫は、赤字

でも一時的な赤字なら、貸してく
れますね。

E 代貸しというのは割合楽な
見通しです。

F 代貸しというのは割合楽な
見通しです。

だから、われわれはメインにす
る場合、余り一流銀行を狙うと危
いような気がします。

司会者 しさんのところは、仕
事も金融関係も、非常に順調のよ
うに聞いていますが……。

L 私のところは特殊な業
種で、皆さんの仕事が暇などに
はこの際更新修理なりをして
おこうなどいって忙しいので

ですが、五二年度公害規制の問題、
それに品質向上化・能率化の問題
もあって、非常に期待していたの
ですが、なにしろユーザーさんには
金がないので、あと一年ぐらいは
古いものを修理して使おうという
ことで、修理の方は結構忙しいの
ですが、更新となると、ユーザー
さんがもう少し金が潤沢にならな
いと、お呼びでないという状況で
あります。

金融の方では、借金はしていま
すが、銀行さんは非常に信用が
あつて、借りてくれ、またか、ま
だかと催促されるのですが、また
仕事が入らないのでもう少し待つ
てくれ、と言っているような状態
です。

M 一多分に洩れず、私自身で
も、昨年は一昨年に比較して約三
割の人員をカットしたのですが、現
在の受注量が少ないので、それが
すか。

金融の問題もあるので、余り逼迫
するようなことはしないだろう、
というのがマクロ的な見方です。

たたみクロロでは、不況が非常に
浮揚の問題もあるので、余り逼迫
するようなことはしないだろう、
というのがマクロ的な見方です。

だから、そこかといって、景気
が益々行なわれるのではないで
すが、銀行も商売だから、
長引いて企業差が大きくなり、
しているので、今は所謂逼迫融資
の問題もあるので、余り逼迫
するようなことはしないだろう、
というのがマクロ的な見方です。

F 今、代貸しまして一千円まで
ですか。

H Fさんの今年の金融の見通
しについて、概況としては全く
見通しについて、となたか見通
しないのですが……。

金融問題も含めて、この不況を中
小企業という枠の中で耐え得るか
どうか、という点が、経営意欲
に非常に影響してくるのではないか

昔の譬話ではないが、城を守るの

一時的には金融が逼迫することも
持つて行つたら、もう数日で金
利が下がるから、下がつたら書き
るのでないかと心配しています
と思います。

司会者 金融問題の個々につい
ては、いろいろの問題があるうか
と思いますが、時間の関係もあり
ますので、次の話題に移りたいと
思います。

J 私もその心配をしています
か、という気がします。

八割の企業が

人員縮少を考えている

司会者 昨年の暮れでしたが、一
か、という気がします。

従来すると、不況のときの人員
整理というのは、経営の鉄則みた
いに言われていますが、社会の
変化に伴つて、その鉄則が行なわ
ないことがよく言われている

日本経済新聞に経団連の調査結果
が出ていましたが、マクロ的に見
て、実質成長が5%程度なら懲ら
ず三年後には完全失業者の数が今
の倍になる、六の程度でどんどん
七%になると若手労働力不足の傾
向になる、という点で、マクロ
的に見ようかもしませんが、

その後の新聞やその他私が見聞き
したことでは、全産業の7割の
企業が、今後、雇用関係を縮少し
ていく傾向にあると言えるのでは
ないかと思います。

それに、よく言われますように
日本の場合、表面に出た失業率
は数の約三倍の失業者がいること
です。つまり、これは相当大きな問題で
ますと、これが結構大きな問題で
すが、皆さんのはいかがで

日本から言えば、そう思つよう。雇
用問題に着手して適正規模という
形にまで追い込むには相当時間
をかけなければならないのではないか
と思います。

確かに、企業が健全でないわれわれ中小企
業から言えば、そう思つよう。雇
用問題に着手して適正規模とい
う形にまで追い込むには相当時間
をかけなければならないのではないか
と思います。

今一寸、経営費の問題に触れ
ますが、昨年の暮れ近くに、中
小企業金融公庫の会というの
が発足して、その総会の席上、東洋
バルブの社長を二十二年間やって
こられた今度同庫の総裁になられ
た渡辺さんが、中小企業金融公庫
は政府の方針に従つて中小企業に
投資するのか立前で、生きたお金
を有效地に使つていただけるなら、
従来のような設備投資面だけでは
なく、運転資金に対する投資もど
んなやつて行くが、その際、一
番ポイントになるのは、中小企
業の皆さんのがこの不況を乗り
切つて行く経営意欲をどれだけ持
つたれているか、ということです。

永森 忠義氏

株式会社日伸製作所

武山 秀夫氏

株式会社竹中機械製作所

高橋 知一氏

株式会社新海製作所

杉谷 順弘氏

佐藤 精一氏

株式会社大谷造機所

坂口 靖治氏

内田 卵助氏

株式会社東電舎

石森 憲蔵氏

エビナ電化工業株式会社

株式会社内田製作所

海老名正教氏

株式会社大谷造機所

大谷 勇蔵氏

株式会社内田製作所

石森 憲蔵氏

株式会社大谷造機所

内田 卵助氏

株式会社内田製作所

準備はしておべきだと思います
司会者 金融問題の個々につい
ては、いろいろの問題があるうか
と思いますが、時間の関係もあり
ますので、次の話題に移りたいと
思います。

出席者 (五十音順)



いう安心感を持っています。
私のところは、昨年の三月決算
では相当大きな赤字を出している
のですが、金融機関はよく面倒を
見てくれるわけではないのですから、
そのため、銀行も商売だから、
長引いて企業差が大きくなり、
しているので、今は所謂逼迫融資
の問題もあるので、余り逼迫
するようなことはしないだろう、
というのがマクロ的な見方です。

F 今、代貸しまして一千円まで
ですか。

H Fさんの今年の金融の見通
しについて、概況としては全く
見通しについて、となたか見通
しないのですが……。

金融問題も含めて、この不況を中
小企業という枠の中で耐え得るか
どうか、という点が、経営意欲
に非常に影響してくるのではないか

昔の譬話ではないが、城を守るの

（次頁へ）

(前頁より)

二十四画で发展しています。

最近の年数で言いますと、四十
七、四八は「天德地生に満ち頗
間相談役の位なり」で、昭和四十

七八年は余りよくなく、五十年

は、「一盛一衰」の年で、よいよ
うに見えて悪い年です。五十一
年が「先見の明があつて富
貴繁榮する年です。だから、五十二年近くにならな
いと、今年もよくなないのであ
りませんか? 個人の運命がよ
ります。その人の運命がよ
りますから、個人の運命がよ
ければ、国の運命にそろ左右されま
せん。

七八年は余りよくなく、五十年

は、「一盛一衰」の年で、よいよ
うに見えて悪い年です。五十一
年が「先見の明があつて富
貴繁榮する年です。だから、五十二年近くにならな
いと、今年もよくなないのであ
りませんか? 個人の運命がよ
ります。その人の運命がよ
りますから、個人の運命がよ
ければ、国の運命にそろ左右されま
せん。

七八年は余りよくなく、五十年

は、「一盛一衰」の年で、よいよ
うに見えて悪い年です。五十一
年が「先見の明があつて富
貴繁榮する年です。だから、五十二年近くにならな
いと、今年もよくなないのであ
りませんか? 個人の運命がよ
ります。その人の運命がよ
りますから、個人の運命がよ
ければ、国の運命にそろ左右されま
せん。

七八年は余りよくなく、五十年

は、「一盛一衰」の年で、よいよ
うに見えて悪い年です。五十一
年が「先見の明があつて富
貴繁榮する年です。だから、五十二年近くにならな
いと、今年もよくなないのであ
りませんか? 個人の運命がよ
ります。その人の運命がよ
りますから、個人の運命がよ
ければ、国の運命にそろ左右されま
せん。

七八年は余りよくなく、五十年

は、「一盛一衰」の年で、よいよ
うに見えて悪い年です。五十一
年が「先見の明があつて富
貴繁榮する年です。だから、五十二年近くにならな
いと、今年もよくなないのであ
りませんか? 個人の運命がよ
ります。その人の運命がよ
りますから、個人の運命がよ
ければ、国の運命にそろ左右されま
せん。

七八年は余りよくなく、五十年

は、「一盛一衰」の年で、よいよ
うに見えて悪い年です。五十一
年が「先見の明があつて富
貴繁榮する年です。だから、五十二年近くにならな
いと、今年もよくなないのであ
りませんか? 個人の運命がよ
ります。その人の運命がよ
りますから、個人の運命がよ
ければ、国の運命にそろ左右されま
せん。

七八年は余りよくなく、五十年

は、「一盛一衰」の年で、よいよ
うに見えて悪い年です。五十一
年が「先見の明があつて富
貴繁榮する年です。だから、五十二年近くにならな
いと、今年もよくなないのであ
りませんか? 個人の運命がよ
ります。その人の運命がよ
りますから、個人の運命がよ
ければ、国の運命にそろ左右されま
せん。

七八年は余りよくなく、五十年

は、「一盛一衰」の年で、よいよ
うに見えて悪い年です。五十一
年が「先見の明があつて富
貴繁榮する年です。だから、五十二年近くにならな
いと、今年もよくなないのであ
りませんか? 個人の運命がよ
ります。その人の運命がよ
りますから、個人の運命がよ
ければ、国の運命にそろ左右されま
せん。

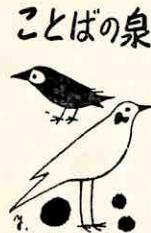
七八年は余りよくなく、五十年

は、「一盛一衰」の年で、よいよ
うに見えて悪い年です。五十一
年が「先見の明があつて富
貴繁榮する年です。だから、五十二年近くにならな
いと、今年もよくなないのであ
りませんか? 個人の運命がよ
ります。その人の運命がよ
りますから、個人の運命がよ
ければ、国の運命にそろ左右されま
せん。

七八年は余りよくなく、五十年

は、「一盛一衰」の年で、よいよ
うに見えて悪い年です。五十一
年が「先見の明があつて富
貴繁榮する年です。だから、五十二年近くにならな
いと、今年もよくなないのであ
りませんか? 個人の運命がよ
ります。その人の運命がよ
りますから、個人の運命がよ
ければ、国の運命にそろ左右されま
せん。

七八年は余りよくなく、五十年

は、「一盛一衰」の年で、よいよ
うに見えて悪い年です。五十一
年が「先見の明があつて富
貴繁榮する年です。だから、五十二年近くにならな
いと、今年もよくなないのであ
りませんか? 個人の運命がよ
ります。その人の運命がよ
りますから、個人の運命がよ
ければ、国の運命にそろ左右されま
せん。

七 福 神

「七福神益賊」と称して七福神の服裝でしのび入る泥棒に、福は中国の福徳神です。ただ東北人が来たといつてお金や品物を大黒天、弁財天、毘沙門天（多与える迷信すらあつたと伝えら元来漁民たちの守り神だったも

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

(前頁より)

十一月六日～七月に開催し、
要領は昨年度通りとするに
決定。

講師 粉體院議員 宇都宮 德馬氏

十ニ月二日 永年勤続奨賞委員会
田区長森彰並びに大田工連会長表
彰について通知。十月十四日 正副部会長(青年部)
①十一月事業について
左の通り決定。十月二十二日 ガス溶接技術修了
講師 福田英雄氏十月二十三日 中小企業団体全国
見學市場 新日本製鐵株式会社津製作所十月二十四日 月例研究会
場所 蒲田工業会館 テーマ 情報交換その他十月一日 理事内田卯助氏 中小企
業訓練校主催について通知。
講師 立川謙志氏十月三日 (水) 午後四時～六時
場所 浮島 テーマ 年末手当情報交換その他十一月五日 (水) 午後六時
場所 蒲田工業会館 テーマ 「日本経済の見通し」十二月三日 (水) 午後六時
場所 蒲田工業会館 テーマ 「日本経済の見通し」

会費 八,〇〇〇円

③一月例研究会

二月三日 (火) 又は

十六日 (金) 午後六時

場所 蒲田工業会館

講師 山田亮三氏

十二月六日 釣大会

石もじ釣大会を開催、参加者六

名

十二月三日 (水) 午後三時

場所 漢島

講師 立川謙志氏

十二月三日 (水) 午後三時

場所 蒲田工業会館

講師 立川謙志氏

謹んで新年のお喜びを申し上ます

蒲工業懷同組合負有志

(五十音順)

機械器具製造業
株式会社 旭川製作所
尼寺空圧工業株式会社
合資会社 大津鉄工所
大野化学機械株式会社
坂口精密工業株式会社
三栄工機株式会社
昭和精密工業株式会社
伸栄工業株式会社
太産工業株式会社
大東機械株式会社
株式会社 竹中機械製作所
炭研精工株式会社
ティ・ヴィ・バルブ株式会社
株式会社 藤栄製作所
株式会社 東京精密器具製作所

東京索道株式会社
株式会社 鳥海製作所
株式会社 中谷機械製作所
長坂精機株式会社
株式会社 日鍛製作所
日本ギヤーン無段变速機株式会社
深尾精機株式会社
藤田工業株式会社
株式会社 藤原製作所
合資会社 古川機械製作所
株式会社 ヨシヅカ精機
電氣機械器具製造業

株式会社	東 永 森 電 機 株 式 會 社	電 呂
株式會社	中山電機工芸社	舍
深尾電線製造株式會社	西野機械工業株式會社	
輸送用機械器具製造業	株式會社 日伸製作所	
金屬製品製造業	岩佐工機株式會社	
合資會社	佐々木発条製作所	
閔屋窯炉工業株式會社	羽田パイプ製造所	
株式會社	早崎製作所	
同和発条株式會社	羽田発条製作所	
有限會社	安藤鐵工所	
株式會社	本庄鐵工所	
株式會社	武藤鐵工所	
神田産業株式會社	江崎工業株式會社	
有限公司	赤井製作所	
株式會社	内田製作所	
プレス・鋳金業	江崎工業株式會社	

岡田 錆 金株式会社
株式会社 清川製作所
協和 鈑 金株式会社
株式会社 清水鉄工所
株式会社 新海製作所
信光工業株式会社
株式会社 東亜製作所
日本中空鋼株式会社
株式会社 蝶田電機製作所
製 罐 業
株式会社 新井久四郎鉄工所
岡本工業株式会社
鍛 金 業
エビナ電化工業株式会社
有限会社 寺田ケミカル工研
東洋防錆工業株式会社
鑄 物 製 造 業
有限公司 京浜鋳造所
有限公司 三陽ダイカスト工業所
杉谷金属工業株式会社
熱處理業その他
株式会社 東京ハードフェイシング
株式会社 気球製作所
城南木工株式会社
ナショナルベンディング株式会社